

中部5市2町における広域連携に向けて

～「新たな広域連携促進事業」の
これまでの取組と今後の進め方～

平成27年8月31日

静岡県中部5市2町首長会議

1 広域連携の目的とこれまでの経過

(1) 広域連携の目的

人口減少・少子高齢社会において、自治体が連携して地域の産業競争力と雇用の確保、魅力ある行政サービスの提供などを通じて、都市活力を維持、地域間競争を勝ち抜く。

(2) これまでの主な経過

- 平成26年 8月 市長会議で広域連携推進の方針確認
- 平成26年10月 吉田町、川根本町が会議に参画
- 平成27年 2月 5市2町首長会議で広域連携の方針確認
- 平成27年 4月 副市長副町長会議で総務省モデル事業への応募を静岡市から提案(5月に応募)
- 平成27年 6月 総務省が当地域の応募提案を選定

2 広域連携の取組事業の検討

(1) 取組事業の具体化の検討

① 観光交流、産業経済、移住定住の3部会を設置

5市2町の担当課が参加して各部会で検討

② 各部会の所掌

観光交流部会：広域観光、MICE誘致推進関係

産業経済部会：創業起業支援、アンテナショップ研究関係

移住定住部会：移住定住、婚活、Uターン就職促進関係

(2) 検討から実施までの流れ

取組事業案は、首長会議で了承を受けた後に順次実施

(必要に応じて、副市長副町長会議等を開催)

3 連携して取り組む事業案

施策1 圏域の産業と創業起業の支援

➤ 広域的な創業起業支援により、地域経済の活性化を目指す。

取組事業① 創業起業の広域的支援体制の構築

➤ SOHOしずおかの体制強化により、広域的支援体制の拡充を図る。



SOHOしずおか風景

取組事業② 創業起業支援に関する広域的情報発信

➤ 中部地域経営会議における提言も踏まえ、サイトを立ち上げ（委託）、官民間わず、各市町における支援に関する情報を収集し、発信する。

取組事業③ アンテナショップ設置に関する調査研究

➤ 地域の情報発信やテストマーケティングの場となる5市2町共同のアンテナショップ設置に関して、調査研究を行う。

施策2 広域観光の推進

- 各市町の連携、官民協働により、広域観光を推進する。
また、インバウンド需要拡大に向けた受入環境整備を進める。

取組事業④ 関係団体等との協働による広域観光の推進

- 中部地区観光協議会のアクションプラン（産業と食、スポーツ、教育交流）などを活用し、観光関係者のモニターツアーによる検証、セールスフレームの構築など（一部委託）により広域観光を推進する。



大井川鐵道のS L 列車

取組事業⑤ 国内外からの受入拡大のためのおもてなし検討

- インバウンド需要拡大のため、Wi-Fi環境整備、SNS等を活用した情報発信、案内対応などについて、研究推進する。

施策3 MICE誘致の推進

- スケールメリットを生かして、国内外からの来訪者の利便性を高め、交流人口の拡大を図る。

取組事業⑥ MICE誘致推進のための総合的な戦略の検討

- 静岡観光コンベンション協会などとも連携しながら、MICE誘致の更なる推進のための総合的な戦略づくりを研究する。



国連軍縮会議（平成25年）

施策4 交流拠点施設等、高次都市機能設置の研究

- 回遊を促進する交流拠点や高次都市機能の集積を図るための拠点施設のあり方などを研究する。

取組事業⑦ 交流拠点施設などのあり方等の検討

- 高次都市機能を担う交流拠点施設、学術・研究施設等のあり方、整備などについて研究する（一部委託）。

施策5 移住定住の促進

- 中部地域の魅力の情報発信と相談対応等の充実により、移住定住を促進する。

取組事業⑧ 移住定住促進のための情報発信と相談対応

- 移住定住ガイドの作成と活用、体験談を聞くプログラムなどを盛り込んだ移住体験ツアーの実施、移住セミナー開催等における職や住居などの幅広い情報発信、「静岡市移住支援センター」における相談対応等（一部委託）を通じて、県とも連携しながら、当地域への移住定住を促進する。



静岡市移住支援センター窓口

取組事業⑨ 結婚支援による若年層の地域内への定着推進

- 婚活事業に関して、市町間をはじめ、民間団体との情報交換などを通じて、若年層の地域への定着を推進する。

施策6 地域の人材確保

➤ 静岡県中部地域の各市町にある企業等の情報を発信して、学生のUターン就職の促進、地域内の人材確保を図る。

取組事業⑩ 親に向けた地域内企業・業界の情報発信

➤ 昨今の学生の就職に関する相談相手として、「両親」が重要な位置を占めていることを踏まえ、中部地域の外で学ぶ大学生等の親に対して、採用情報などを発信するとともに、中部地域の企業経営者との交流会を開催する。当地域の企業や業界に関する生の情報が親から大学生等に伝わるようにすることで、大学生等の情報不足を補い、Uターン就職の促進を図る。



経営者と語るリクルートカフェ

4 今後の取組の流れ・方針(案)

- (1) 各市町の特色や魅力を最大限に尊重しつつ、連携して実施することにより効果が期待できる事業を実施
- (2) 部会における取組事業の更なる具体化の検討・協議
引き続き5市2町の担当課が参加する各部会で検討・協議する。
- (3) 副市長副町長会議の開催
首長会議での議論によるほか、必要に応じて、進捗管理などを行う。
- (4) 必要に応じて、県の各種取組との連携・調整
県が地方創生で進める各種取組等との競合を回避する。
- (5) 取組の進捗管理などのため、企画担当部課長会議を随時開催